

とうめい



初夏の微笑み

久方ぶりに足柄峠を覗いてみた。数多くの草花が、一斉に咲き誇り始めました。
カップルでコーヒー沸かし、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

フォトサークルA 青柳 良治

●目次

初夏の微笑み1P	新人看護師が入職しました5P
医療記事2P 「がん診療のいま」	特集 愛川クリニック6P とうめい健康川柳
リハビリ通信 疲れにくい歩き方・身体づくり3P 2023年度 新入職員オリエンテーション	働く仲間7P がん相談支援センター 厨房リニューアルに伴う工事について
かけはし ～登録医紹介～4P 第2事業部 病院だけじゃない。地域にも リハビリテーション専門職がいますよ!	ペットのはなし8P 編集後記 関連施設一覧

がん診療のいま

消化器外科 科長 ◆田澤 賢一

◆がんは減っている？

コロナ禍の生活も早や3年、5類感染症への移行もあり、行動制限が緩和、コロナ前の生活に戻りつつあります。そんな中厚生労働省は2023年度よりがん患者の健康に対する中長期的な実態調査に乗り出しました。人口の高齢化が加速しているのに2020年度の外科の胃がん、大腸がんの治療患者数が減少したという事実に基づき、コロナ禍のがん集団検診の受診控えが理由と考えているからです。

◆減少したコロナ禍のがん検診受診者数

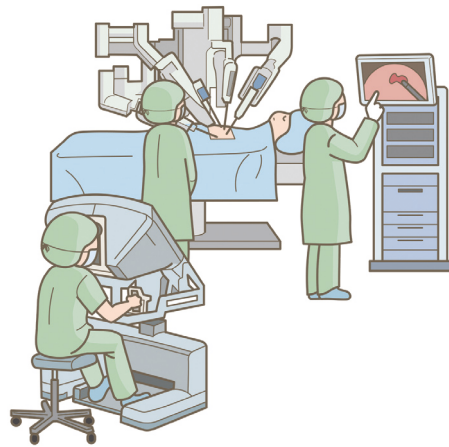
2020年度の五つのがん集団検診受診者はコロナ前の3年間の年平均数を約2〜3割近く下回っています。検診受診者数が減れば、検査異常の患者さんの人数も減り、結果的に無症状がん患者の発見が遅れ、病状が進行する訳です。事実、進行がんの割合の増加が目立っています。

◆がん治療の実際（内視鏡治療、手術）

早期発見が出来れば、すでにがんは治らない病気ではありません。まずは、

発見された異常病変から細胞、組織レベルでサンプルを取り、顕微鏡でがん診断を行い、続いて、CT、MRI、FDG-PET検査などの画像検査で

がんの広がり（stage）を決定、治療方法を選択します。がんが早期、または周辺の限定的なリンパ節の転移にとどまっている場合は内視鏡治療、または、手術治療を行います。内視鏡治療とは口、またはおしりから細長いカメラを挿入、表面にとどまるがんのみを切除します。内視鏡切除がおこなわれたがんが転移、再発を起こすリスクの高い場合は手術治療を行います。近年の手術治療は、大きい傷の開腹手術件数が減り、腹腔鏡手術、ロボット支援下手術が行われるようになっていきました。腹腔鏡手術はお腹に5〜10ミリの小さな複数の傷から細長いお箸の様な道具で行う手術です。ロボット支援下手術は、腹腔鏡手術と同様の傷を用いて、複数の関節を有するロボットマニピュレーター（触手）で行う手術で、従来の前二者で不可能であった視野（3D）や角度での手術が可能で、規制緩和も手伝い、今後、国内での導入が加速すると考えられます。



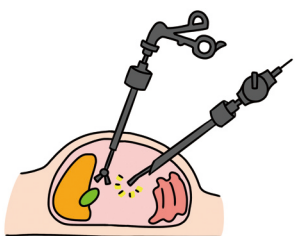
◆抗がん剤治療、分子標的治療、免疫チェックポイント阻害剤、ホルモン治療、放射線治療

がん手術後の追加治療や不幸にしてがんが再発、広い転移を来し、手術での完全切除が難しい場合、お薬での治療となります。がん細胞の増加を直接抑える抗がん剤、がん細胞がもつ特殊なたんパク質を狙う分子標的治療、がん免疫のシステムを利用する免疫チェックポイント阻害剤、ホルモン感受性のある乳がんや前立腺がんを使うホルモン治療など、がんの特性に応じた治療が可能です。副作用として、発

熱、食欲低下、脱毛などがあり、これらをコントロールするのも医療者の腕の見せどころです。乳がん、甲状腺がんなどの体表面に近い部位のがんや放射線に敏感な食道がんや前立腺がんは、体の外から内から放射線をあてる治療も行えます。

◆神奈川県がん診療連携拠点病院としての役割

がんは診断から治療まで様々な過程と方法があります。東名厚木病院では、関連施設での検診業務に加え、県中央医療圏で最初に神奈川県がん診療連携指定病院に認定された病院で、前述した検査や治療の大部分に加え緩和医療も可能です。検診希望や最近調子が悪いなあとお困りの皆様は当院スタッフにお声がけいただければ幸いです。今後も地域の皆様の健康を第一に考える病院でありたいと考えております。



リハビリ通信 第64回

疲れにくい歩き方・ 身体づくり

疲れにくい歩きかたってあるので、
しょうか？疲れやすい原因としては
必要以上に足の筋肉を使いすぎてい
ることが挙げられます。したがっ
て、大きい筋肉を極端に使いすぎな
いことが長距離を疲れずに歩くため
のポイントです。

疲れやすい方は、具体的にはふく
らはぎやお尻の筋肉を使いすぎてい
る傾向にあります。足裏全体で着地
して、やや小股で歩くことが筋肉を
使いすぎない歩き方に繋がります。

身近なところだとマラソンラン
ナーはフラットに足裏をつくことで
エネルギー消費を抑えながら走って
います。逆に疲れやすい歩き方とは
どういう歩き方なのでしょうか？

幹や歩幅を大きく動かす歩き方は、
疲れやすくなります。

例えば、フアッションショーで歩
くモデルをイメージしてもらおうと分
かりやすいですが、内股で腰を大き
く横に振る歩き方はエネルギーを大
きく消費するため、長距離歩行には
向いていません。歩幅は骨盤幅にし
て、筋肉を左右バランスよく使うこ
とを意識すると、長時間疲れずに歩
くことが可能です。大腿で歩くとエ
ネルギーを多く消費するので、長距
離歩くと疲れてしまいます。歩行速
度は、加速するときにエネルギーを
多く消費しますので、常にペースを
一定にして歩くことが重要です。

日頃から意識してコントロールで
きるようにしておくといいでしょ
う。その他、筋肉を左右均等に使う
と疲れを抑えることが出来るため、
靴はリュックサックタイプがおすす
めです。胸の周囲が固定できていな
いと猫背になりやすく、姿勢が悪く
なるため、歩行にも影響します。

チエストベルトがついている物が
ついているものだと、さらに効果
が期待出来ます。

皆さんも実践して
みましょう。

東名厚木病院
リハビリテーション科
橋本 健太郎



2023年度 新入職員オリエンテーション

4月3日、4日三思会ホールにて、新
入職員オリエンテーションが行われま
した。今年も、三思会全体で68名の新
人を迎えることができました。

入職式や懇親会はコロナの影響で中
止となりましたが、3年ぶりに新人全員
で三思会ホールに集まったの開催とな
りました。オリエンテーションでは、
三思会職員としての心得や社会人とし
てのビジネスマナーなどを学び、それ
ぞれの施設へと配属となりました。



野村理事長による三思会ビジョン



ビジネスマナー 電話対応の練習



妻田内科クリニック

院長 鈴木 雅人

《経歴》 私立 栄光学園高校卒業
1993年 国立 山梨大学医学部卒業



《所在地》

〒243-0815
神奈川県厚木市妻田西3-17-8
電話 046-223-3121

妻田内科クリニックで院長を勤めさせていただいています。鈴木 雅人です。厚木市妻田西で開業してから15年目に入りました。地域に密着した医療を心がけ、内科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、小児科を診療科目とし、一人一人に安心でき、わかりやすい医療を心がけてまいりました。

身体のどこかに異常を感じたら何科に行けばよいか悩んだことがありますか。当院では、かかりつけ医として、幅広い医療を心がけ、内科系のすべての病気から外科系、皮膚泌尿器系の疾患まで、診断根拠にもとづいた治療が受けられます。内視鏡も得意分野のひとつです。胃カメラや大腸カメラ、超音波検査を年間2000件以上実施しております。また、特定健診・長寿健診、各種がん検診やコロナワクチンをはじめとする各種予防接種など予防医学にも力を入れております。

東名厚木病院の皆様には、連携医療機関として日頃より大変お世話になっております。今後もお力をお借りしながら、地域の皆様のかかりつけ医として精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

第2事業部



♪ 病院だけじゃない。

地域にもリハビリテーション専門職がいますよ! ♪

みなさんこんにちは。

社会医療法人社団三思会 介護・福祉リハビリテーション部門の前田と申します。

地域のご依頼で講演等をしに行くと「リハビリの先生って病院で働いている人たちでしょ？わざわざありがとうね」と言われることがまだまだ多くあります。という事で、今回は地域で活躍する介護・福祉リハビリテーション部門のことをご紹介したいと思います。

三思会には介護・福祉分野としてさまざまな事業所が存在しています。

リハビリテーション部門として、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士という資格の異なるリハビリテーション専門職が複数名在籍しています。

誰もが普段は生活者として地域で暮らし、病気がけがになれば病院（クリニック）にかかり、必要が

あれば入院（病院）し、治ったらまた地域に戻り生活者となります。その生活をリハビリテーションの知識・技術で支えるのが我々リハビリテーション専門職の役割です。そのために、訪問看護ステーション、老人保健施設、障害児・者通所施設など様々な事業所にリハビリテーション職を配置し、どこにいてもその人らしい生活（人生）が送れるように支援をしていきたいと考えています。

これから益々高齢社会となっていくことが予想されます。私たちはこれからも、医療法人の介護・福祉リハビリテーション部門として、誰もが自己実現のためにいきいきと生活できる社会を目指します。

病院だけじゃない。地域にもリハビリテーション専門職はいます。生活に関する相談等々なんでもご相談下さい。



新人看護師が入職しました

2023年度は32名の新人看護師が入職しました。学生時代は新型コロナウイルス感染症蔓延の影響を受け、学習や実習に制限を受けました。そのような状況でしたが「患者さんへ、こんな看護ができる看護師になりたい!」と熱い志を持っており、前向きに何事にも取り組んでいます。

1年間名札にクローバーバッチを身につけているのが新人看護師です。暖かく成長を見守って下さい。

看護部教育担当 下島 三千代



2023年度新人看護師
岩間 柊空さん
(いわま ひいら)

私が中学生の頃、祖母ががんを患い65歳で命を落としたことをきっかけに、がんで闘病している人達に少しでも寄り添い力になりたいと思い、将来看護師になるという夢を持つようになりました。

東名厚木病院で働きたいと思った理由は、がん診療連携指定病院であるため、私が学びたいという「がん看護」に携わることができることに、とても魅力を感じたからです。

4月・5月の新人看護師ローテーション研修で、先輩看護師に限られた中でどんなに忙しくても患者さんに親身に接する姿や、自分の提供する知識や技術に責任を持って看護している場面を見ることができました。6月からは私も部署に配属されるため、先輩方のように専門職としての責任を持ちながら、患者さんが安心できるように自信のある看護を提供したいと考えています。また、患者さんの身の回りのことや声かけなど一つ一つに気を配り、気軽に頼って貰えるような接し方などを意識して頑張っていきたいと思っています。

第4事業部

愛川クリニック
災害対策委員会報告



愛川クリニックでは年に2回、患者・スタッフ合同災害避難訓練を行っています。愛川町は東に相模川と西に中津川があり水害が心配されますが、愛川クリニックがある中津は少し高台にあり水害は全く心配ありません。また岩盤も堅い場所であり比較的 안전한場所です。ただし、大きな地震等により停電が発生した場合の対応が一番の課題です。当院は小さなクリニックで自家発電設備はありませんので、自助で対応しなければなりません。

今回は夜間透析の時間帯に患者さんにも協力していただき、実際に照明を落として避難訓練を行いました。夜間に行ったことで新たな課題が見つかり良い教訓となりました。

またこの訓練の活動報告は、神戸で開催された「第68回日本透析医学会学術集会」(6/16~6/18)でも発表しました。



第2回 とうめい

健康川柳

東名厚木病院をはじめとする社会医療法人社団三思会では、「長い付き合い」をテーマに川柳を募集しています。

長く付き合うコツやエピソードなどなんでもかまいません。

友人、趣味、ペットのことなど、あなたの想いを五七五で綴ってみませんか？

- 【テーマ】 「長い付き合い」
- 【募集締切】 2023年8月31日まで
- 【賞品】 ジュニアの部(中学生以下)・一般の部にてクオカードをプレゼント
*昨年よりも入賞者を増やしました！

【応募方法】 (webでのご応募)東名厚木病院のホームページから、応募フォームに必要事項を入力ください。お一人様1作品まで、ご応募いただけます。

(応募用紙でのご応募)チラシ裏面の応募用紙に必要事項をご記入の上、郵送もしくは東名厚木病院をはじめとする社会医療法人社団三思会の施設に設置している専用ポストへ投函ください。

【発表】

入賞作品は2023年12月(予定)に三思会各施設のポスター掲示とホームページ・SNSなどで発表いたします。受賞者には、郵送にてご連絡いたします。受賞作品および受賞者のペンネームをホームページやSNSなどでもご紹介する場合があります。

【入賞賞品】

- ジュニアの部(中学生以下):最優秀賞5,000円分 1名/優秀賞 3,000円分 2名 / 佳作 500円分 10名
- 一般の部:最優秀賞10,000円分 1名/優秀賞 6,000円分 2名 / 佳作 1,000円分 10名

【公式SNSもチェック!】

facebook@とうめい企画広報室
Instagram @team_tomei_pr

働く仲間

入職／平成28年4月1日

氏名／齊藤 祐奈

患者総合支援センター

医療福祉相談室



当院に入職してあっという間に7年が経ちました。大学時代、社会福祉の勉強をする中で医療ソーシャルワーカーという職に関心を持ち、地元の病院で実習をしたのち厚木に来ました。院内外問わず日々多くの方と接する職種であり、上手いかないことも反省することもあります。当院のスタッフは皆相談しやすく、温かい環境の中で経験を積んでいると痛感しています。

ソーシャルワーカーは見えづらい仕事かもしれませんが、入院中に生じる患者さんの困りごとを福祉の面から支援しています。退院・転院調整に加え、経済面や精神面など色々な側面からの介入も行っており、私たちの働きかけが少しでも安心できる治療に繋がったらいいなどの気持ちで業務をしています。

1階の売店横に相談室はあります。皆さんも何かあれば気軽にお立ち寄り下さい。

入職／平成29年4月1日

氏名／吉田 貴和子

管理部 企画・広報課



検査技師を卒業し、広報になって3年になります。最近では、「広報の吉田さん」が徐々に浸透してきて、嬉しく思っています。専門職として10数年働き、人生設計を見直すことになり、以前から興味があったデザインを大学の通信教育で学びました。働きながら単位を取得するのは結構大変で、制作、プレゼン、評価の繰り返しで、挫折の連続でした。他人の作品はとても良く見えますし、どうしてそんなことを思いつくのだろうと、毎回劣等感との闘いです。そうこうしているうちに、法人のホームページ担当に行きつき、今に至ります。

大学を卒業してからも、日々の学びは継続しています。事務は専門職以外とまとめられがちですが、実はとてもクリエイティブで色々な専門家が集まっていると思っています。これからも、法人内外のたくさんの方にご協力をいただきながら、一人でも多くの方にファンになってもらえるよう取り組んでまいります。

厨房リニューアルに伴う工事について



東厚木病院では、入院患者さんのお食事を提供するための厨房を新しく移転することとなりました。

5月より1号館の一部にて工事が行われるなど、騒音など発生する可能性があり、ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。なお、新しい厨房は、11月オープン予定です。

がん相談支援センターだより



梅雨がまもなく明け、本格的な夏を迎えようとしています。新型コロナウイルスが5類となったことで、対面での社会活動の機会が少しずつ増えてきました。とはいえ、当法人ではマスク着用のお願いや面会の制限等、まだご不便をおかけしております。

がん相談支援センターでは、日ごろのご相談はもちろんのこと、今年度皆さまとお話や交流ができる場として講演会やがんサロンを複数回開催予定です。夏、秋、冬と予定しています。

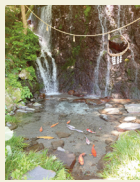
会場は、皆さまが参加しやすいよう病院を出て地域での開催も含めて企画しています。ホームページ上など随時案内してまいりますので楽しみに！



編集後記



●最近流行りのグランピング施設、どこも予約でいっぱいです。
(クッキー3)



●今年は滝行にチャレンジ!?(おちやがかり)



●青い海、スイカ割、夏が来ました!
(まなかなちゃん)



●仕事終わり自転車で乗ろうとしたところ…可愛らしい生き物がスタンバイしていました。残念ながら連れては帰れず。
(ビッキー)



●おみくじはなんと大吉!旅行できますように☆
(豆大福)

各施設の連絡先

東名厚木病院

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1771 FAX.046-228-0396
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>

とうめい厚木クリニック

〒243-0034 厚木市船子237
TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935
<https://www.tomei.or.jp/clinic/>

透析センター

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1771 FAX.046-229-1939
<https://www.tomei.or.jp/toseki/>

愛川クリニック

〒243-0303 愛川町中津2035-1
TEL.046-284-5225 FAX.046-284-2772
<https://www.tomei.or.jp/aikawa/>

とうめい綾瀬腎クリニック

〒252-1107 綾瀬市深谷中1-8-20
TEL.0467-70-1115 FAX.0467-70-2115
https://www.tomei.or.jp/ayase_clinic/

とうめい宮の里クリニック

〒243-0216 厚木市宮の里1-2-9
TEL.046-280-6222 FAX.046-280-6227
https://www.tomei.or.jp/miyanosato_clinic/

東名厚木メディカルサテライトクリニック 健診センター

〒243-0034 厚木市船子224
TEL.046-229-1937 FAX.046-227-0677
<https://www.tomei.or.jp/tams/>

新横浜メディカルサテライト 健診センター

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-11 金子第一ビル4F
TEL.045-471-3855 FAX.045-471-3856
<https://syms.tomei.or.jp>

●無料送迎バスを運行しています。
詳しくはホームページの無料送迎バス時刻表をご覧ください。
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>

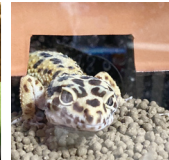
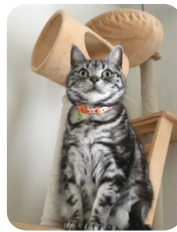


ペットのはなし その74



私の実家では猫二匹・トカゲ一匹を飼っています。丸くてミルクティー色のわがまま女王様猫のローラ。我が家の裏ボスの存在で、怖顔の父もメロメロです。そしてローラ様の下僕一号のふくは、顔はイケメン・しかしマザコン・愛嬌たっぷりです。少し抜けている猫で、お散歩をすれば鳩やトンボを追いかけて、過去には天窗から脱走して骨折をするという逸話を残してくれました。最後に、密かにファンを獲得しているトカゲのぷっちゃん。弟が壁一面に「トカゲほしい」と張り紙をした結果、両親がその熱意に折れて飼い始めました。ぷっちゃんはお飯をあげる時にウインクをしてくれるとても愛くるしいトカゲです。

4/22にふくが虹の橋を渡っていきました。どの子も我が家にとっては唯一無二の存在で何十年後も忘れません。きっとお空でトンボを追いかけて大好きなカリカリをもりもり食べてくれていると思います(笑) 診療情報管理室 幅



介護老人保健施設 さつきの里あつぎ

〒243-0034 厚木市船子322-1
TEL.046-227-1188 FAX.046-227-0033
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/roken/>

介護老人保健施設 なでしこの里 リハビリひらつか

〒254-0016 平塚市東八幡4-19-3
TEL.0463-23-7045 FAX.0463-22-4187
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/nadeshiko/>

厚木市南毛利地域包括支援センター

〒243-0039 厚木市温水西2-27-38 カーネーションパーク1階
TEL.046-250-1108 FAX.046-250-1105
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/houkatu/>

訪問看護ステーション さつき

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-228-6556 FAX.046-228-6557
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/satuki/>

訪問看護ステーション さつき サテライト愛川

〒243-0303 愛甲郡愛川町中津3529 スズキビル2F 202号室
TEL.046-284-6677 FAX.046-228-6688

東名厚木病院居宅介護支援センター

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-227-6557 FAX.046-228-6557
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/kyotaku/>

複合型施設マザーホーム戸室

〒243-0031 厚木市戸室1-29-1
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/motherhome/>

1F 多機能型事業所「にじいろ」

TEL.046-222-7772

看護小規模多機能型居宅介護事業「いわしぐも」

TEL.046-222-7773

2F 訪問看護ステーション「もみじ」

TEL.046-294-1177 FAX.046-294-1178

3・4F サービス付き高齢者向け住宅「マザーホーム戸室」

TEL.046-222-7755 FAX.046-222-7756